

米水津地域コミュニティだより《No.2》

令和4年10月1日



米水津地域は、少子高齢化と過疎化による人口減少が進み、現在(令和4年8月)の米水津地域の人口1,683人が、20年後には1,278人ほどになると予想されています。

このような現状や課題などを把握し、米水津地域の将来について、地域や団体などが連携する組織づくりが必要ではないかと考え、8月25日に米水津地域の「新たな地域コミュニティ組織を考える会」を設立しました。

市もこの取組を重要施策として推進し、県の支援も頂きながら会の運営を行います。

構成メンバーは、各種団体などで活動する方々と話す会で希望された方々です。米水津地域の将来に向けて熱心に話し合いを行っていきます。



住民アンケートについてのお知らせ

地域住民皆様のご意見などをお聴きするため、中学生以上の全住民を対象にアンケートを10月に実施する予定でしたが、第2回考える会で様々な意見が出され、内容を再検討することになりました。実施時期につきましては、後日お知らせいたします。

裏面に第1回及び第2回の考える会の内容を載せています。

第1回 考える会(8/25)



- 1 考える会の役員承認
会長 水口貞光 区長会長
副会長 高橋ユリ子 地区社協会長
渡邊正太郎 地域振興審議会会長
- 2 住民アンケートおよび先進地視察についての説明
- 3 考える会の規約についての説明と承認
- 4 考える会の予算についての説明と承認
- 5 ワークショップ（テーマ：米水津地域の課題について）
主な意見を紹介します
 - ・地域でも困らない交通体制（高齢者の移動支援）
 - ・少子高齢化（後継者不足、地域行事の存続の危機）
 - ・世代間の交流（住民が気楽に話せる場がない）
 - ・空き家、荒れ地の増加

第2回 考える会(9/15)

- 1 視察研修について（12月11日(日)：中津江村）
- 2 考える会のスケジュールの変更（10,11月に1回ずつ追加）
- 3 住民アンケートの検討（会員から出た意見の一部）
 - ・アンケートの目的がわからない。
 - ・新しい組織の説明が必要。
 - ・自主財源だと継続が難しい団体もある。
- 4 地域課題の担い手について
 - ① 考える会で出た「地域の課題」と話す会で出た「やりたいこと」をもとに、各取組の現在の担い手を確認しました。
 - ② ①の内容について、「将来やらないといけないことはどれか」ということを話し合いました。（多く出たものを紹介します）
 - ・子どもと高齢者の食堂をつくりたい。（居場所づくり）
 - ・第2浦代トンネル開通後の観光ツアー
 - ・米水津全体で楽しめるイベント（昔の村体のような）
 - ・空き家の活用、リノベーション
 - ・道の草刈り隊
 - ・乗り合いタクシー、デマンドタクシー
 - ・地域の見守り、お助け隊(チケット制)
 - ・色宮小学校跡地の有効活用（苗床栽培）
 - ・米水津の自然の写真大会
 - ・Uターン、Uターンの活用
 - ・米水津スーパーの設立（来店できない人は宅配を利用できる）
 - ・車で避難できる避難場所
 - ・若者の働く場所
 - ・子育て世代の移住
 - ・婚活パーティー
 - ・おためし住宅の促進（無料で1週間等）
 - ・ボランティアの育成
 - ・地域に関わるサポーターづくり

